「介護ロボットへの期待と現場で直面している課題」

社会福祉法人　親愛会
令和6年10月31日

社会福祉法人
親愛会

親愛会組織図

障害分野

法人本部

高齢分野

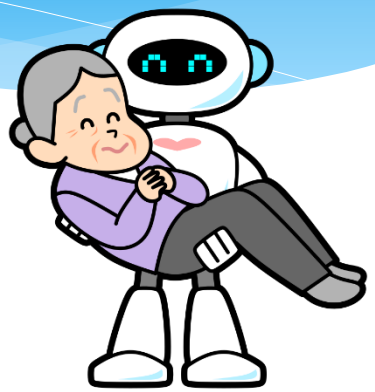
川越親愛センター	親愛南の里	ワークスしんあい	グループホーム しんあい	総合相談室	みどりのまち親愛
施設入所支援	施設入所支援	就労継続支援B型	えみふる	しんあい相談 支援センター	特別養護 老人ホーム
生活介護	生活介護	生活介護	サンハイム	障害者就業・ 生活支援センター かわごえ	短期入所
短期入所	短期入所	茶房ひととき	どりーむ	埼玉県地域 生活定着 支援センター	デイサービス
		pasti Caro	あっとホーム	あんしんネット 親愛	
			はみんぐ		
			かがやき		
			みらい		
			すまいる		
			ふれんず		

理事会(執行機関)	理事長1名、理事5名
評議員会(議決機関)	評議員9名
監査(監査機関)	監事2名
● 第三者機関	
苦情解決システム	第三者委員、虐待防止委員4名

経営理念

「生きるを支える」

介護ロボットへの疑問点と期待



★どこまで開発されているのか？

（1）感知機能

（2）介護機能（機能的サービス、AI活用した情緒的サービス）

★購入費用

★ランニングコスト

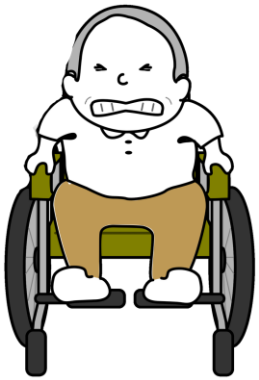
★行動障害に対応できるのか

現場での課題について

【現場職員】

★失禁時にオムツ内に手を入れてしまう方への対応

★介護拒否への対応
- 移乗時に体に力を入れ突っ張ってしまう
- 介助時に介護士を叩く・つねる等の行為が見られる



現場での課題について

【主任職員】

★現場職員が抱えている前頁の課題に対し、排泄時間、おむつ交換時間の見直し、皮膚疾患の確認・対応。コミュニケーションの工夫等での対応が基本との考え方。

★介護ロボットに対するイメージが湧かない。上記の対応についても、現状での改善策があるのではないかとの発想で対応している。

★見守りシステム（眠りスキャン）は、夜勤時の入居者の状態把握に有効と思われる。対応の優先順位が判断しやすく、排泄介助や転倒防止に役立つと思われる。
Wi-Fi整備が前提になっており、整備に多額の費用がかかる。
現状の環境で導入できるものがないかを検討中である。

福祉＝『大変』ではなく

＝「大切」な、「生きるを支える」仕事です。

あなたたちも
私たちと一緒に
人の生きるを支えて
一人ひとりの大切な人になりませんか？

親愛会アカウント
@sinaikai_saiyou

http://www.sinaikai.or.jp